

## 保護者の方へ

# プール熱（咽頭結膜熱）にご用心！

低学年を中心に、プール熱（咽頭結膜熱）と診断される人が増えてきました。以下のことを参考に  
にご注意・ご協力をお願いいたします。

## プール熱（咽頭結膜熱）とは・・・？

### \* 症状 \*

発熱（39～40℃）、のどの炎症やのどの痛み、目の充血、  
目やになどが症状としてあげられます。  
関節痛、頭痛、腹痛、下痢などが見られる場合もあります。

### \* うつり方（感染経路） \*

**飛沫感染**…ウイルスを含んだしぶきが、咳やくしゃみで飛び、それを他の人が吸い込むこと  
によってうつります。

**接触感染**…ウイルスがついた手や指で、自分の目・鼻・口などに触れることによって、体に  
ウイルスが侵入し、うつります。

**プールでの感染**…ウイルスに汚染された水が目の結膜に直接入って感染します。（規定の塩素  
濃度が守られていれば大丈夫です）タオルの貸し借りでもうつります。

**感染力が強いので注意が必要です。**

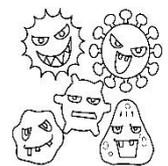
### \* 予後 \*

比較的予後は良好であり、後遺症なども残りにくい病気です。

### \* 特徴 \*

**アデノウイルスが原因で起こり、夏に流行しやすく、プールでの感染が多いことからプール熱  
とよばれます。しかし、近年、1年を通して全国的に発症がみられています！**

ウイルスに感染してから、症状が出るまでの潜伏期間は5～7日と言われています。家庭内  
でも感染が広がることの多い病気です。症状がなくなっても、便の中にウイルスが長期間排  
出されますので、トイレの後などは特に念入りな手洗いがが必要です。



## ○ 感染予防対策その1

### ☆朝の健康観察をお願いします☆

学校での集団生活において感染拡大を防止するのは、大変難しいのが現状です。**疑わしい症状がある場合は、**登校を見合わせ、**ご家庭で様子をみていただきますよう、**お願いいたします。

#### 健康チェック項目

- 発熱の有無
- 目の充血や目やにが見られる
- 体のだるさを訴えている。
- のどの痛みの有無



## ○ 感染予防対策その2

### ★石けんでの念入な手洗い・マスクの着用を★

ウイルスを広げない・口や鼻や目から体にいれないためにも、**石けんでの念入な手洗いと必要に応じてマスクの着用**をお願いします。



## ○ 感染予防対策その3

### ★家庭での感染拡大を防ぐために★

感染者とはタオル、寝具などを分けて使用しましょう。

入浴では、感染者は一番最後にし、できればシャワーですませましょう。

洗濯も感染者が使用したものは、分けて洗いましょう。

ドアノブ、階段の手すりなどの消毒には、次亜塩素酸、逆性石けんが有効です。

**<出席停止について> 医師に学校で流行していることをお話しください。**

**出席停止期間** …… **主な症状がなくなってから、2日を経過するまで。**

診断されましたら学校へご連絡ください。

※出席停止期間は基準であり、病状により医療機関において感染のおそれがないと認められる場合についてはこの限りではありません。